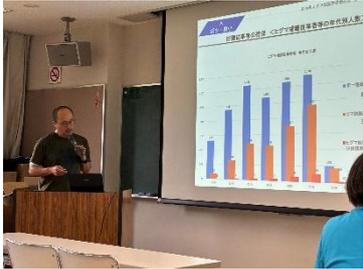


理科教育 実技・理論 研修会 終了報告

| | | |
|---|--|--|
| テーマ | 都市近郊における生物多様性と人間活動の影響について | |
| 日時 | 令和7年7月29日(火) | |
| 会場 | 北方自然教育園 白川市民の森 | |
| 講師 | 佐藤 喜和 氏(酪農学園大学 教授) | |
| 参加者 | 11 名 | |
| 研修会 の 様子 |  | <p>ヒグマの頭数が増加傾向であること、捕獲されているクマの大半が雄で、メスの捕獲数は雄に比べて少ないこと等、知らなかったことをたくさん学べ、有意義な研修となりました。</p> |
| |  | <p>実際のヒグマの骨をもってきていただき、熊の生態についてじっくり学ぶことができました。</p> |
| |  | <p>後半の研修では白川市民の森へフィールドワークに行きました。</p> |
| |  | <p>実際のフィールドワークでは学生さんの案内で動物の死骸、シカ、クマの活動の痕跡を見ることができ、とても興味深かったです。</p> |
|  | <p>今回の研修会では、今まさに話題になっている熊の生態について勉強できる貴重な時間となりました。実際のフィールドワークについても、動物の痕跡等を確認でき有意義な時間となりました。</p> | |